

c. まとめ

大崎駅周辺地域における道路や交通施設の特性は、以下のとおりである。

【道路】

- ・ 駅周辺部は鉄道や広幅員の幹線道路、目黒川等が市街地の分断要素となっているが、目黒川を渡る橋りょうや、大崎駅の東西をつなぐ自由通路やデッキの整備が進んでいる。五反田駅周辺は、駅前の広幅員道路を渡る横断歩道の位置が限られており、歩道橋の幅員も狭い。
- ・ 滞留者の多い駅周辺では、渋滞による道路閉塞が生じ、駅出入口やデッキ付近、緊急輸送道路の横断歩道等が避難の際のボトルネックとなる可能性がある。
- ・ 駅から離れたエリアでは、鉄道を横断できる箇所は限られるとともに、大崎駅の南西側のエリアでは、幅員4m未満の道路が多く見られる。
また、大学や学校付近に急傾斜地崩壊危険箇所が見られ、避難路の設定の際には注意が必要と考えられる。

【交通施設】

- ・ 大崎駅はJR3線とりんかい線、五反田駅はJR線、東急線、都営地下鉄の3線が発着するターミナル駅であり、1日の乗車人員は両駅とも約20万人前後と多くの人々が利用することから、帰宅困難者等の推計の際には鉄道利用者についても考慮することが必要と考えられる。

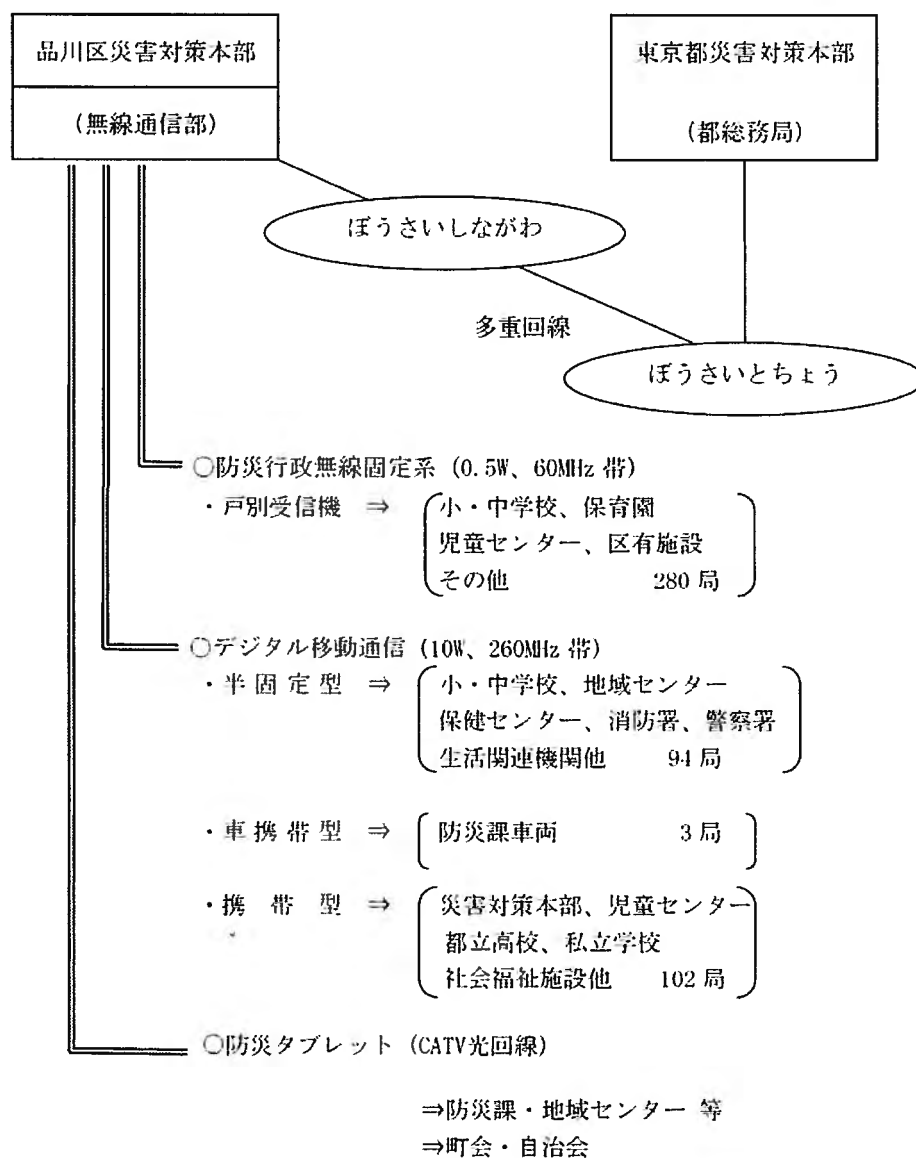
2. 現況および課題の把握

エ 防災関連設備・施設等

a. 防災行政無線

品川区では、平成19年度よりデジタル移動通信を導入している。防災関連機関や生活関連機関との通信手段として、災害時に避難所となる児童センターや私立学校等に機器を配備している。無線通信系統図は、以下のとおりである。

図表 48 無線通信系統図³³



b. 給水拠点

給水拠点は、以下のとおりである。

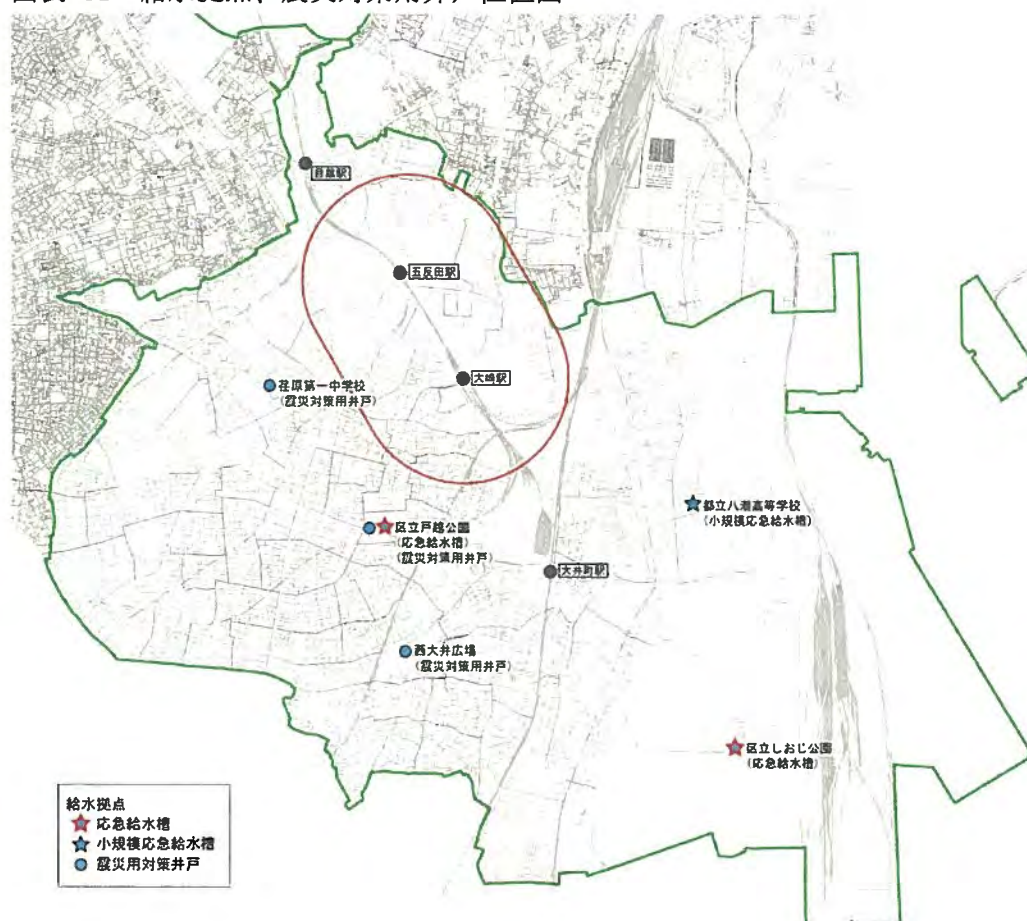
図表 49 給水拠点となる施設一覧³⁴

施設名	住所	使用可能水量
区立戸越公園（応急給水槽）	豊町2丁目1 - 30	1,500 m ³
区立しおじ公園（応急給水槽）	八潮5丁目6	1,500 m ³
都立八潮高等学校（小規模応急給水槽）	東品川3丁目27 - 22	100 m ³

また、震災対策用井戸の設置状況は、以下のとおりである。

図表 50 震災対策用井戸³⁵

設置場所	住所	日量
西大井広場	西大井1丁目4 - 10	約300m ³
戸越公園	豊町2丁目1 - 30	約170m ³
荏原第一中学校	荏原1丁目24 - 30	約100m ³

図表 51 給水拠点、震災対策用井戸位置図¹

2. 現況および課題の把握

c. 災害時の交通規制・緊急輸送道路

【第一次交通規制】

道路交通法に基づき警視庁が実施し、人命救助、消火活動等に従事する緊急自動車等の円滑な通行を確保するための交通規制である。

- ・環状七号線から都心方向への車両は通行禁止となる。（環状七号線は迂回路として通行することが可能）
- ・環状八号線から都心方向への車両の通行は抑制される。
- ・下記の7路線が「緊急自動車専用路」となり、緊急自動車等以外の一般車両の通行が禁止される。

図表 52 第一次交通規制道路一覧³⁶

国 道	4号（日光街道ほか）	17号（中山道・白山通りほか）
	20号（甲州街道ほか）	246号（青山通り・玉川通り）
都 道	目白通り	外堀通り
高速道路	高速自動車国道・首都高速道路	

※ 高速自動車道と首都高速道路を合わせて1路線とする。

※ 被災状況によって、上記以外の路線を指定することがある。

図表 53 第一次交通規制（大震災発生直後から）³⁶



凡 例			
環状7号線	■■■■■	環状8号線	●●●●●
緊急自動車専用路	—	国道4号・国道17号・国道20号・ 国道246号・目白通り・外堀通り	
	—	高速自動車国道・首都高速道路	

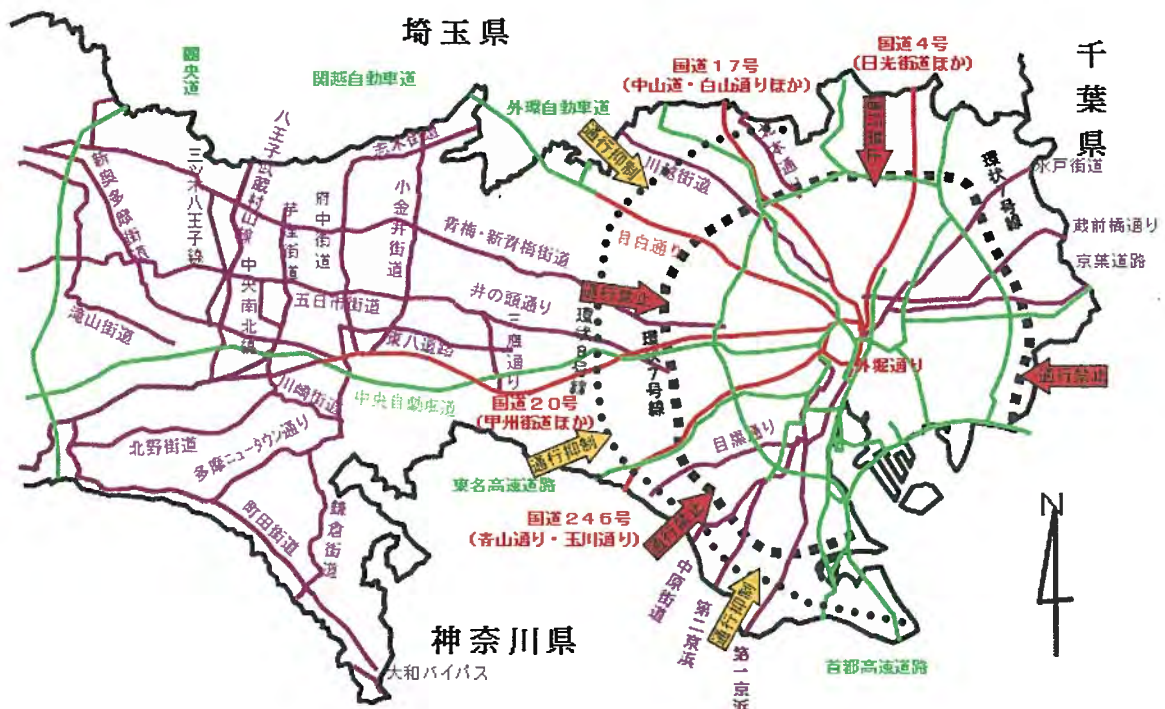
【第二次交通規制】

災害対策基本法に基づき警視庁が実施する交通規制で、災害応急対策に従事する緊急通行車両等の円滑な通行を確保するための交通規制である。

- ・ 下記の31路線のうち、被害状況、道路交通状況、災害応急対策の進捗状況等を勘案し、必要な路線を「緊急交通路」に指定する。
- ・ 品川区における緊急交通路は、第一京浜、第二京浜、中原街道、目黒通りの4路線となる。

図表 54 緊急交通路一覧

第一京浜	第二京浜	中原街道	目黒通り
青梅・新青梅街道	川越街道	北本通り	水戸街道
蔵前橋通り	京葉道路	井の頭通り	三鷹通り
東八道路	小金井街道	志木街道	府中街道
芋窪街道	五日市街道	中央南北線	八王子武蔵村山線
三ツ木八王子線	新奥多摩街道	小作北通り	吉野街道
滝山街道	北野街道	川崎街道	多摩ニュータウン通り
鎌倉街道	町田街道	大和バイパス	

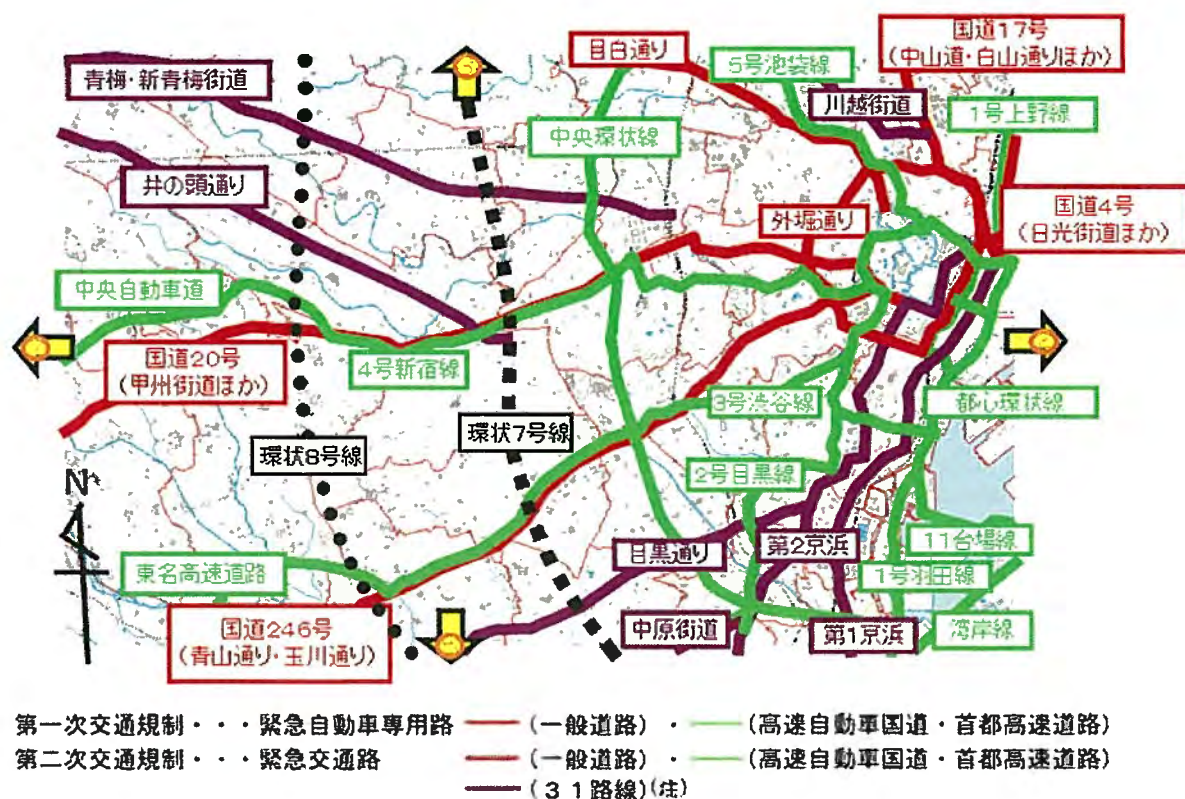
図表 55 第二次交通規制（被害状況および道路状況を勘案した上で実施）³⁶

凡		例	
環状7号線	■■■■■	環状8号線	●●●●●
緊急交通路	———	優先して指定する路線 (国道4号・国道17号・国道20号・ 国道246号・目黒通り・外環通り)	
	———	優先して指定する路線 (高速自動車国道・首都高速道路)	
	———	被害状況により指定する路線	

2. 現況および課題の把握

大崎駅周辺地域における緊急自動車専用路および緊急交通路は、首都高速2号目黒線、第二京浜の2路線となっている。

図表 56 緊急自動車専用路・緊急交通路 詳細図³⁶



【緊急輸送道路】

緊急輸送道路とは、発災直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道およびこれらを連絡する幹線道路と知事が指定する防災拠点を相互に連絡する道路をいう。

大崎駅周辺地域における緊急輸送道路は、以下のとおりである。

- ・ 緊急輸送道路：主要地方道317号線、補助163号線
- ・ 特定緊急輸送道路：国道1号、中原街道
- ・ 大崎駅周辺地域では、五反田駅前を横断する国道1号（桜田通り、第二京浜）が特定緊急輸送道路、大崎駅前を横断する都道317号線（山手通り）と大崎駅南側の百反通りが緊急輸送道路に指定されている。
- ・ 緊急輸送道路は災害時に横断が制限されるため避難路設定にあたって注意が必要である。

2. 現況および課題の把握

d. 広域避難場所

【広域避難場所】

広域避難場所は、震災時に発生する延焼火災から身の安全を確保するために一時的に避難する場所で、東京都震災対策条例に基づき、東京都が指定する。広域避難場所はおおむね5年ごとに見直されており、およそ5ha以上の空地や耐火建物群、河川敷、グラウンド、学校、公園や緑地などのオープンスペース、また輻射熱の影響が少ない安全な所まで後退できる奥行きがある場所などを要件に選定されている³⁸。

品川区は10ヶ所が指定されている。このうち、大崎駅周辺地域の広域避難場所は、高輪三丁目・四丁目・御殿山地区、自然教育園・聖心女子学院一帯、J R アパート・品川区役所一帯、大井ふ頭一帯、戸越公園一帯、天王洲アイル周辺、大崎駅西口地区一帯である。

図表 58 大崎駅周辺地域の広域避難場所³⁹

避難場所名称 (所在地)	区域面積／ 避難有効面積	地区割り当て		避難計 画人口	一人当り 避難有効 面積	最遠 距離
		区町丁	町丁数			
高輪三丁目・四丁目・御殿山地区 (港区高輪、品川区北品川)	235,437㎡／ 110,924㎡	港区高輪1～4丁目、白金台2丁目 品川区北品川5～6丁目、4丁目の一部、東五反田1、3丁目の各一部	10	62,298 人	1.78 ㎡/人	1.4km
自然教育園・聖心女子学院一帯 (港区白金、白金台、品川区上大崎)	365,905㎡／ 182,103㎡	港区白金1～6丁目、白金台1、3～5丁目 品川区荏原1丁目の一部、上大崎1～4丁目、西五反田3、5、6丁目の各一部、東五反田4丁目、1、3、丁目の各一部	21	70,533 人	2.58 ㎡/人	1.9km
JRアパート・品川区役所一帯 (品川区広町)	84,171㎡／ 42,336㎡	品川区大井1～3丁目、戸越1丁目、3丁目の一部、西品川3丁目、1～2丁目の各一部、広町2丁目、二葉1丁目、2丁目の一部	11	40,205 人	1.05 ㎡/人	1.2km
大井ふ頭一帯 (品川区八潮、大田区城南島、東海)	5,140,642㎡／ 2,340,599㎡	品川区北品川2丁目の一部、広町1丁目、南品川1～3、5～6丁目、4丁目の一部	8	21,418 人	109.28 ㎡/人	1.9km
戸越公園一帯 (品川区豊町)	62,691㎡／ 18,492㎡	品川区戸越2、4丁目、3、5丁目の各一部、西品川1～2丁目の各一部、豊町1～3丁目	9	16,600 人	1.11 ㎡/人	0.5km
天王洲アイランド周辺 (品川区東品川)	227,484㎡／ 123,268㎡	品川区東品川1丁目、南品川4丁目の一部、北品川1、3丁目、2、4丁目の各一部	6	23,526 人	5.24 ㎡/人	1.2km
大崎駅西口地区一帯 (品川区大崎)	58,978㎡／ 26,302㎡	品川区大崎2～3丁目、4丁目の一部	3	16,283 人	1.62 ㎡/人	0.7km

2. 現況および課題の把握

【地区内残留地区】

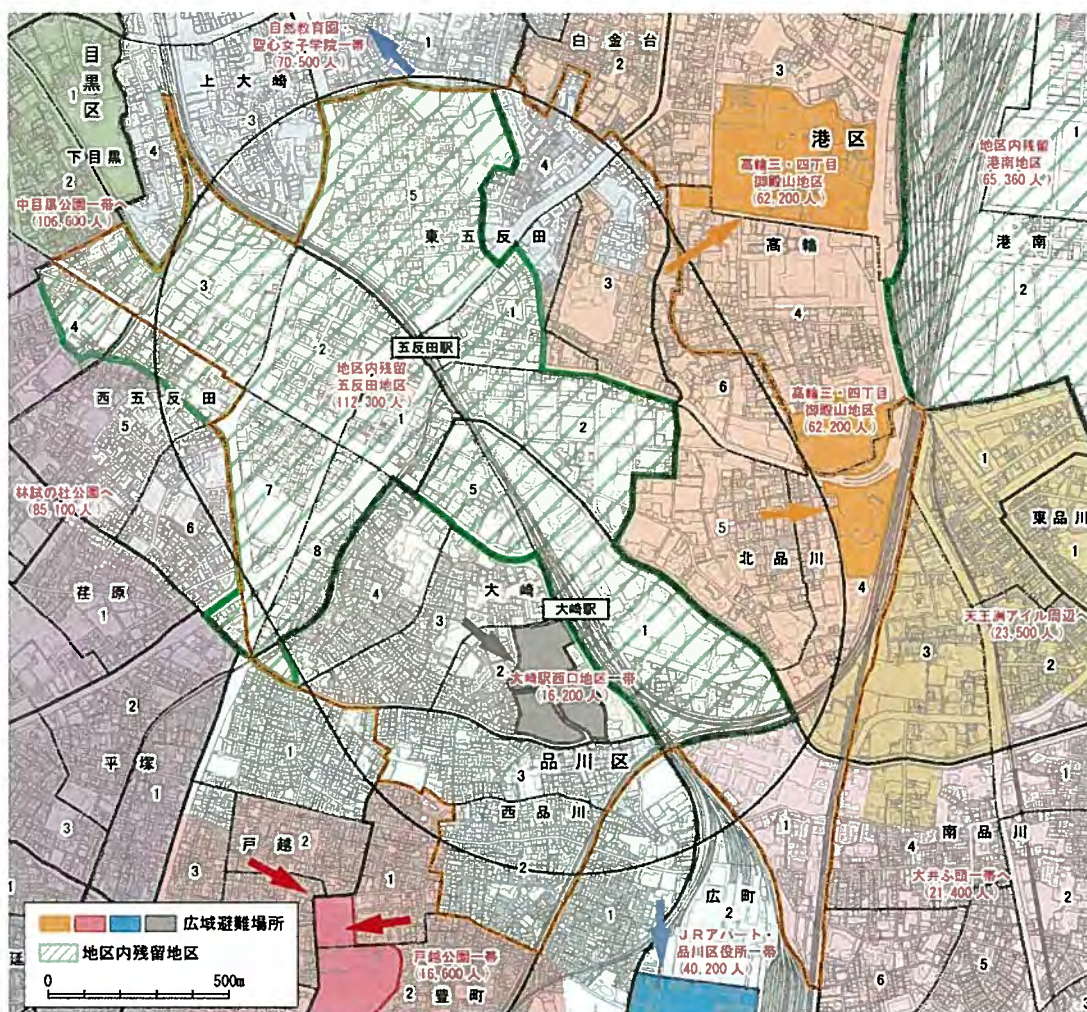
地区の不燃化が進んでおり、万が一火災が発生しても、地区内に大規模な延焼火災のおそれなく、広域的な避難を要しない区域として、地区内残留地区が定められている。

品川区の地区内残留地区は、5地区が指定されている。大崎駅周辺地域では、五反田地区が定められている。

図表 59 大崎駅周辺地域の地区内残留地区⁴⁰

地区名	区名	所在地	面積	地区内退避人口
五反田地区	品川区	大崎 1, 5 丁目、4 丁目の一部、西五反田 1～2 丁目、7～8 丁目、3～6 丁目の各一部、東五反田 2, 5 丁目、1 丁目の一部	131ha	112,386人

図表 60 広域避難場所、地区内残留地区¹



- ・五反田駅周辺や大崎駅の東側は、地区内残留地区に指定されており、万一火災が発生した場合も広域的な避難を必要としない区域となっている。
- ・今回の対象区域の縁辺部にあたる広町1丁目や東五反田4丁目などは、指定されている広域避難場所までかなり距離がある状況である。
- ・大崎2～4丁目の広域避難場所には、大崎駅西口地区一帯が指定されており、周辺住宅地から駅の方角へ避難者が集中することになるため、駅周辺の混乱回避や安全な避難に向けた対策が必要と考えられる。

e. 公園、広場等

【防災機能を有する公園、広場】

品川区では、震災時における地域の防災活動拠点として、平常時には防災訓練の場、区民の憩いの場、子どもの遊び場となる38ヶ所（平成28年4月1日現在）の防災活動広場の整備を行ってきた。

これら防災活動広場に加え、公園等にも可能な限り防災設備を設けている。

貯水槽や防災無線スピーカーが設置された、防災機能を有する公園は大崎駅周辺地域内に5ヶ所立地している。防災活動広場は立地していない。

図表 61 大崎駅周辺地域の公園、広場（40t以上の貯水槽を設置）⁴¹

広場名	所在地	面積	貯水槽	施設整備
西八丁公園	西五反田8丁目11-4	521.78㎡	100㎡	固定系無線屋外スピーカー
大崎五丁目遊園	大崎5丁目2-2	1,708㎡	100㎡	
大崎5丁目児童遊園	大崎5丁目8-5	97㎡	100㎡	
鎗ヶ崎公園	西品川3丁目12-2	360.58㎡	40㎡	
西品川おさんぽ公園	西品川3丁目9-24	606.81㎡	40㎡	

2. 現況および課題の把握

【その他公園】

特に防災機能は整備されていないものの、発災直後に避難が可能と考えられる公園は、以下のとおりである。

図表 62 その他公園⁴²

公園名	所在地	面積	備考
五反田南公園	東五反田 2 丁目 1 - 1 4	519㎡	目黒川沿いの低地にある公園で、幼児向け遊具と休養施設が置かれている。
五反田ふれあい 水辺広場	東五反田 2 丁目 9 - 1 1	3,441㎡	再開発事業により整備された親水広場型の児童遊園。
御成橋公園	東五反田 2 丁目 1 5 - 2 0	1,559㎡	目黒川に架かる御成橋の脇にある遊戯・休憩型の公園。
池田山公園	東五反田 5 丁目 4 - 3 5	7,022㎡	旧岡山池田藩下屋敷跡を整備した鑑賞型公園。高低差を生かした池泉回遊式。
ねむの木の庭	東五反田 5 丁目 1 9 - 5	580㎡	旧正田邸の跡地に整備した公園。
五反田児童遊園	東五反田 5 丁目 2 1 - 1 0	157㎡	首都高速道路2号線高架下の道路に面した小さな児童遊園。坂道に面しているため園内は二段に分かれている。
五反田公園	東五反田 5 丁目 2 4 - 6 東五反田 5 丁目 2 5 - 2 7	965㎡	一般的な遊具中心の公園で、坂道をはさんで二段に分かれている。
大崎橋広場	西五反田 1 丁目 1 0 - 2	751㎡	目黒川沿いにある細長い広場で歩道と一体的に整備されている。
谷山公園	西五反田 3 丁目 6 - 1 5	1,301㎡	西五反田三丁目地区計画に基づき整備された公園。民間開発で提供された公園と一体的に整備されている。
西五反田公園	西五反田 5 丁目 6 - 4	2,274㎡	氷川神社に隣接する公園で、高低差により児童向け遊戯、健康遊具、多目的広場の3ゾーンに分かれている。
大崎光の滝公園	大崎 1 丁目 1 - 2	1,001㎡	大崎駅東口第3地区の再開発事業により整備された公園。
大崎川の辺緑地	大崎 1 丁目 5 - 1	388㎡	民間のビル建設に伴い提供された細長い小緑地。
居木橋公園	大崎 1 丁目 1 4 - 4	1,400㎡	大崎駅東口第二地区再開発事業により提供された公園。

(次頁に続く)

2. 現況および課題の把握

(前頁の続き)

公園名	所在地	面積	備考
ひふみ公園	大崎2丁目2-11	691m ²	大崎駅西口地区の地区計画により整備された公園。
百反坂の上広場	大崎2丁目7-13	255m ²	百反坂の上の旧大崎第二地域センター跡地に整備した広場型の児童遊園。
大崎西口公園	大崎2丁目10-14	1,560m ²	開発行為により整備され、大崎駅のペDESTリアンデッキに繋がる、ステージとして活用できる階段を有する公園。
峰原公園	大崎3丁目17-27	622m ²	峰原坂の上にある遊具主体の公園
大崎公園	大崎5丁目5-17	1,171m ²	防災行政無線固定系あり。 山手通りの近くにある公園。
広町公園	広町1丁目3-30	170m ²	広町一丁目工場アパート群の最奥部にある小公園。
三ツ木公園	西品川2丁目6-11	490m ²	三ツ木通り商店街の中にある公園。
三ツ木児童遊園	西品川2丁目9-18	180m ²	平和坂の途中にある遊戯型の児童遊園。
そよかぜ公園	西品川2丁目17-8	748m ²	区役所の北西に位置する遊戯型の公園。
百反坂下児童遊園	西品川3丁目20-22	201m ²	百反坂の途中から少し奥まったところにある小さな児童遊園。
小関公園	北品川5丁目8-21	1,134m ²	居木橋の北西にある公園。表通りから細い園路を通って入る園内は、多目的広場と遊戯ゾーンからなり、隣接する民間住宅内公園や目黒川緑道とつながっている。
小関橋公園	北品川5丁目7-18	1,087m ²	再開発事業により、大崎駅から再開発地区への玄関口として、地域や訪れる方へ緑の憩いの広場を整備されている。
御殿山の丘公園	北品川6丁目6-32	869m ²	開発行為によりソニー本社跡地に整備された広場型公園。

2. 現況および課題の把握

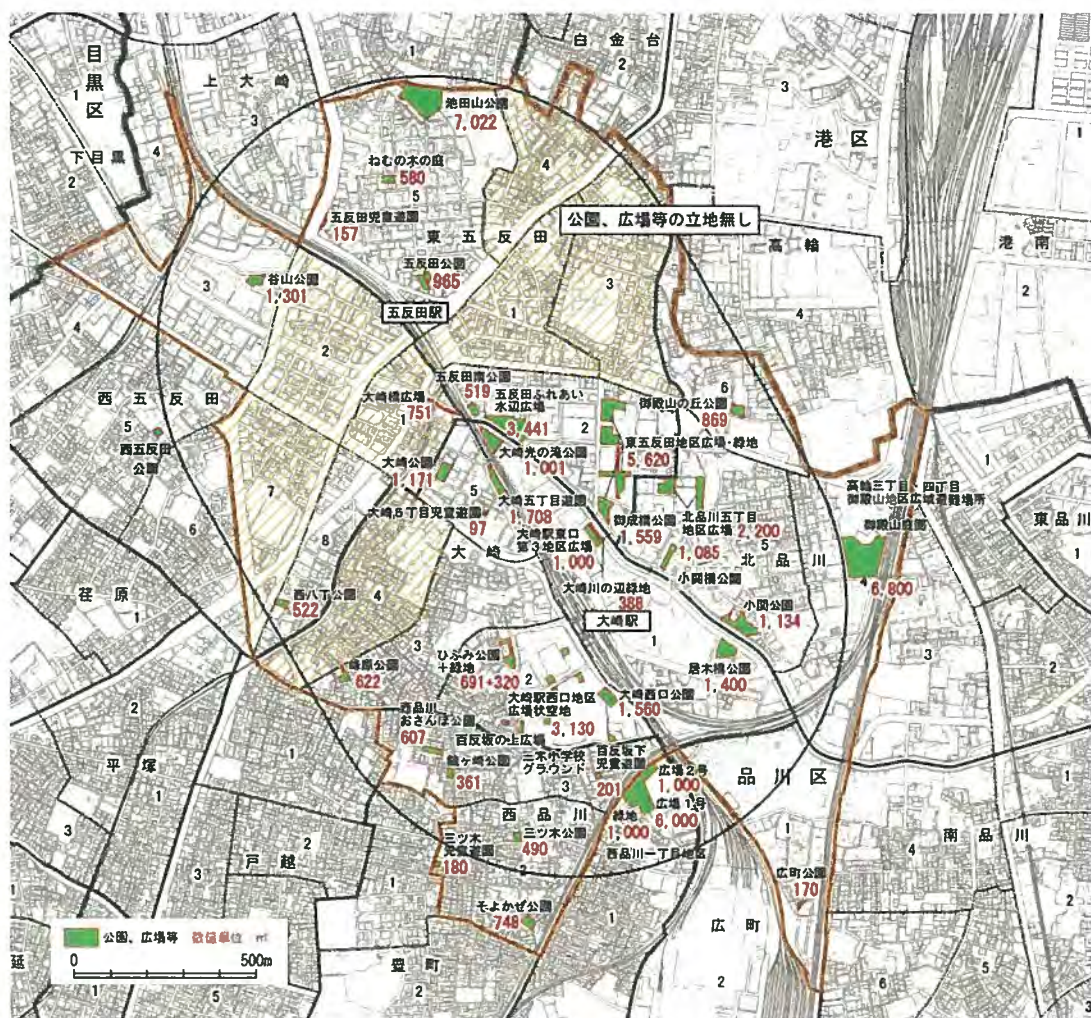
【その他広場】

発災直後に滞留者の滞留が可能と考えられる駅前広場やデッキ等の広場空間は、以下のとおりである。

図表 63 その他広場⁴³

施設名	所在地	種別	面積	備考
五反田駅東口駅前広場	東五反田 1 丁目 1		約2,500㎡	
五反田駅西口駅前広場			約1,000㎡	
東五反田二丁目地区地区計画	東五反田 1、2 丁目	親水広場	約3,400㎡	※五反田ふれあい水辺広場
東五反田地区地区計画 (東五反田二丁目第1地区市街地再開発事業)	東五反田 2 丁目 16、17	広場 1 号	約2,500㎡	緑地は御成橋公園と一体。
		広場 2 号	約1,000㎡	
		広場 3 号	約1,600㎡	
		緑地	約520㎡	
大崎駅東口第2地区地区計画	大崎 1 丁目	地区公園	約1,400㎡	※居木橋公園
大崎駅東口第3地区地区計画	大崎 1 丁目	緑地	約1,000㎡	※大崎光の滝公園
		広場	約1,000㎡	大崎センタービル
大崎駅西口地区地区計画 (ウェストシティビル、Think Park、NBF大崎ビル)	大崎 2 丁目	公園 1 号	約690㎡	※ひふみ公園
		緑地	約320㎡	ひふみ公園と一体。
		広場状空地 1 号	約550㎡	ウェストシティビル
		広場状空地 2 号	約500㎡	Think Park
		広場状空地 3 号	約540㎡	NBF大崎ビル (ゾー)
		広場状空地 4 号	約450㎡	Think Park
		広場状空地 5 号	約320㎡	ウェストシティビル
		広場状空地 6 号	約470㎡	NBF大崎ビル (ゾー)
		広場状空地 7 号	約300㎡	
大崎駅西口駅前広場	大崎 2 丁目		約1,000㎡	
大崎駅西口バスターミナル	大崎 2 丁目 10 - 10		約1,392㎡	有効面積は左記の約50%、700㎡とする。
北品川五丁目地区地区計画 (北品川五丁目第1地区第一種市街地再開発事業)	北品川 5 丁目 5、7	公園 1 号	約1,085㎡	2015年5月竣工
		広場 1 号	約1,100㎡	
		広場 2 号	約1,100㎡	
【対象地域外】 西品川一丁目地区地区計画 (西品川一丁目地区市街地再開発事業)	西品川 1 丁目 1、2	広場 1 号	約6,000㎡	施工中 2017年竣工予定
		広場 2 号	約1,000㎡	
		緑地	約1,000㎡	

図表 64 公園、広場等^{1, 44}



- ・東五反田 1、3、4 丁目、西五反田 1、2、7 丁目、大崎 4 丁目には公園が 1ヶ所も立地していないため、一時退避場所への適切な誘導が必要である。
- ・大崎駅周辺地域では大規模開発に伴い公園や広場が整備されており、今後も開発に合わせた整備を適切に行っていくことが必要である。

2. 現況および課題の把握

f. 避難所等

【避難所】

家屋の倒壊や焼失等により生活が困難となった場合に一時的に避難生活を送る場所である。

品川区地域防災計画では、想定避難所生活者数119,932人に対し、区全体の避難所の収容人員を120,000人と計画している⁴⁵。また、一般の避難者との避難生活を送ることが困難な寝たきりの高齢者や障害者等を保護するための施設として、二次避難所や福祉避難所を指定している。

なお、避難所は原則区民の利用を想定しており、帰宅困難者の利用は想定されていない。

図表 65 大崎駅周辺地域の避難所⁴⁶、二次避難所⁴⁷

避難所名	所在地	構造	収容人員	主な補完避難所
日野学園	東五反田2丁目11-1	鉄筋	3,407人	清泉女子大
芳水小学校	大崎3丁目12-22	鉄筋	987人	立正大学
大崎中学校	西品川3丁目10-6	鉄筋	965人	立正大学
三木小学校	西品川3丁目16-28	鉄筋	1,441人	立正大学
御殿山小学校	北品川5丁目2-6	鉄筋	671人	総合体育館
(二次) 五反田シルバーセンター	東五反田2丁目15-6	鉄筋	44人	—
(二次) 西五反田シルバーセンター	西五反田3丁目9-10	鉄筋	96人	—
(二次) 大崎シルバーセンター	大崎2丁目7-13	鉄骨	83人	—

【医療施設】

災害時における医療救護活動の拠点となる医療機関を災害拠点病院という。区内の災害拠点病院は、以下のとおりである。

大崎駅周辺地域では、東五反田5丁目のN T T東日本関東病院が、災害拠点病院に位置付けられている。品川区内の災害拠点病院は、以下のとおりである。

図表 66 災害拠点病院（平成24年4月1日現在）⁴⁸

位置づけ	施設名	所在地	病床数
災害拠点病院	昭和大学病院	旗の台1丁目5 - 8	853床
災害拠点病院	N T T東日本関東病院	東五反田5丁目9 - 2 2	665床

その他、大崎駅周辺地域に立地する医療機関で、東京都防災マップに記載されているものは、以下のとおりである。

図表 67 大崎駅周辺地域のその他医療機関⁴⁹

位置づけ	施設名	所在地	病床数
—	医療法人社団有仁会 阿部病院	品川区東五反田1丁目6 - 8	84床
—	大崎病院 東京ハートセンター	品川区北品川5丁目4 - 1 2	100床

各地域センター管轄区域内の避難所（区立小中学校）のうち1ヶ所を医療救護所として指定しており、大崎駅周辺地域では、大崎第二地区に立地する三木小学校が該当する。

図表 68 医療救護所一覧⁵⁰

管轄区域	施設名	所在地
品川第一地区	品川学園	品川区北品川3丁目9 - 3 0
品川第二地区	城南小学校	品川区南品川2丁目8 - 2 1
大崎第一地区	第一日野小学校	品川区西五反田6丁目5 - 3 2
大崎第二地区	三木小学校	品川区西品川3丁目1 6 - 2 8

2. 現況および課題の把握

図表 69 避難所、医療施設等¹

